

駅に着目した都市構成の分析と評価

大阪工業大学大学院 学生員 ○野間田享平
大阪工業大学 正会員 田中 一成
大阪工業大学 正会員 吉川 眞

1. はじめに

鉄道駅は都市構成を考える上で欠かすことのできない交通機関のノード（接合点，集中点）である．ここでは人々が集まるという利点を活かし，現在ではショッピングモールや駅チカ，エキナカなど，当初の鉄道を利用するという目的以外の用途が多様化し，交通機関の結節点として利用するだけの場ではなくなっている．このように鉄道駅は都市空間においてその位置づけを変化させ進化を続けており，時代によって変化する人々のニーズに応えるような役割を担ってきている．鉄道駅は都市構成のひとつの柱として考えられ，その役割と位置づけを解明することは今後の発展につながると期待されている．

2. 研究の目的と方法

鉄道駅（駅）は伝統的な交通結節点としての役割だけではなく，その多くは現在，都市の顔として人々に認知されている．周辺と同時期に開発される駅だけでなく，既成市街地に後から組み込まれたものも多く，時代の変遷から形や機能を変え，周辺地区を含む複合的な駅空間へと変化してきている．本研究では，このような駅とその影響範囲のバランスを分析・考察することで，駅に着目した都市構成を測る手法の開発をめざしている．

本研究では，都市空間に対して駅が影響を及ぼす範囲を様々な都市に潜在する情報をもとに，地理情報システム（GIS : Geographic Information System）に代表される空間情報技術や DM データといった空間データを活用することで把握し，三次元化して視覚的に表現することを試みている．駅周辺には飲食店や衣服店，娯楽施設など様々な店舗が存在し，その店舗にはそれぞれの名称がついている．その店舗のなかには「〇〇駅前店」や「〇〇駅店」など，駅の近くに店舗があることを指し示す言葉を含む店舗も存在する．このことから「〇〇駅前店」や「〇〇駅店」などの言葉をつけている店舗があるのは，駅が影響力を持つ存在であり，駅周辺に影響を及ぼしているからではないかと考えた．ここではまず，全ての店舗情報を収集し都市との関係を考察する．さらに，これら店舗の名称と位置情報から，駅の影響圏に対する分析を行う．

3. 対象駅

本研究では，兵庫県内における JR の路線（姫路駅～尼崎駅間）を対象としているこの報告では特に三ノ宮駅での結果を扱う．なお，三ノ宮駅近隣に元町駅，神戸駅が隣接しており，駅が隣接して存在する場合の分析も行うため，これらの駅も対象駅としている．JR 三ノ宮駅は JR 姫路駅～尼崎駅間において乗車人員数が最も多く，近畿の駅百選にも選ばれている規模の大きい駅である(図-1)．



図-1 三ノ宮駅

キーワード 都市，駅，エリア，影響

連絡先 〒535-8585 大阪府大阪市旭区大宮 5 丁目 16 番 1 号

TEL 06-6954-4418

4. 駅周辺店舗の分析

駅が都市に影響を与えていることを駅周辺の店舗（ここでは特に飲食店の結果を示す）分布状況から把握するために、web上で店舗検索が可能なiタウンページを用いて住所データを作成し、アドレスマッチングを行った(図-2)。この結果、店舗は駅周辺に集まることが確認でき、さらに、店舗の密度分布を三次元表現すると駅付近に高い山が形成され、駅に店舗が集中しているということが三次元表現より特徴をつかみ把握できた(図-3)。



図-2 駅周辺店舗の分布状況

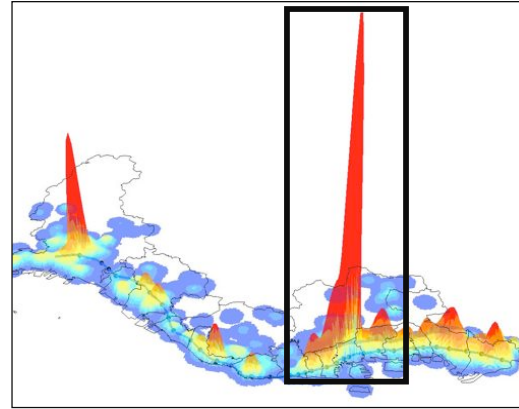


図-3 店舗の密度分布

次に、駅の影響力を把握するため、検索範囲を「神戸市内」、キーワードを「〇〇駅前店」として検索、店舗のアドレスマッチングと密度分布の三次元化を再度行った(図-4, 5)。この図を確認すると、「〇〇駅前店」という駅の名前の入った店舗が先ほどの図-2, 3の店舗の分布状況の最も駅よりに位置していることから、駅の名前の入った店舗は駅の影響が反映されている、もしくは考慮して設置されている店舗と考えられる。このことから、駅に近いほど駅の影響は大きく、駅から離れていくほど小さくなるという駅の影響力の傾向を駅の名前の入った店舗という「都市空間に実在する現象」から確認できた。



図-4 各駅周辺の駅前店の分布



図-5 駅と駅前店の分布状況

5. おわりに

本研究では、「駅」という人々の日常生活において欠かすことのできない交通結節点に着目し、それが現在の都市の核であり、都市の構造は駅の成長に左右されるものであると仮定し研究を進めた。その結果、今回の報告内容では、駅周辺の店舗の分布状況から駅の影響が都市に反映されていることを示し、現在の都市は駅の影響を受け、また、ゆがみ等に影響を与えていると推測できる結果になった。

今後の課題として、さらに広い範囲から駅相互の関係を分析するとともに、駅と都市の関係を考える上で、対象路線の各駅特有のポテンシャルを構造面から把握する必要があると考えられる。今後の展開として、各駅周辺地域特有の他の指標を考慮することで、駅の影響を捉えるアプローチをし研究を進めていく。